~仲間



7/15

第7回 にほんごで話そう! 日本語スピーチ大会を開催しました。

時間 午後1時30分開始

場所 大和市勤労福祉会館3階

今年は、大和市内とその近隣に暮らす、ブラジル、ペルー、ベトナム、メキシコ、中国、タイ、フィリピンの7か国につながりを持つ小学生から成人までの14名が、日頃の思いをスピーチしてくださいました。

当協会理事長賞を受賞したベトナム 出身で渋谷中学校3年生のレ ティ ホントゥイさんは、「何事も諦めない」という タイトルで小学校三年生の時に来日して から今までの大変だったことを話してく ださいました。

私たちは、長く日本に住んでいれば日本語ができるようになって当たり前、と考えがちですが、決してそうではないことを、トゥイさんのスピーチは教えてくれます。彼女のわずか7分足らずのスピーチの中には、実に10回も「頑張る」「頑張った」という言葉が出てきます。彼女が日本語や教科の知識を身につけ



るために重ねた努力は、並大抵のことではなかったのでしょう。

今回スピーチを発表してくださった皆さんは、それぞれに、言葉や文化・習慣の壁を乗り越えて、私たちの前で、いわば外国語でスピーチを披露してくださいました。その勇気に敬意を表し、これからも私たち市民の間の架け橋になってくださるようにお願いしたいと思います。

国際化協会のホームページ(http://yamato-kokusai.or.jp/menu/speech/speech.htm)では、14名のスピーチ原稿をご覧いただくことができます。







Contents

国際化協会と地域のリソースのつながりについて考える	2~3
行ってみたいな あの店この店 特大号	4~5
国際化協会事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6~7
日本語・学習支援ボランティア養成講座、日本語ボランティア教師養成講座、外国人市民サミット開催、「夏休み子ども教室」を終えて	
「つるま読み書きの部屋」講座のご案内、第5回アートフェスタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
안녕!광명! アンニョン!クァンミョン! ····································	
国際化協会からのおしらせ	8

Pal. vol.75

国際化協会の 使い方

~国際化協会と地域のリソースの つながりについて考える。 多くの外国人市民が暮らす大和市では、以前より市民の皆さんが、それぞれに多文化共生につながる活動をされてきました。また、「社会のために何かしたい!」と考える外国人市民の方も、少なくありません。この地域の大切なリソース(資源)が、もっと力を発揮できる環境を作るために、国際化協会にできることは何だろう?キーワードは「つながり」?

行政とNPOや市民、地域をつなげる、国際化協会の中間支援組織*1としての役割について、考えてみたいと思います。

※1 中間支援組織・・・市民、NPO、企業、行政などの間に立ってさまざまな活動を支援する組織であり、 市民等の主体で設立された、NPO等へのコンサルテーションや情報提供などの支援や資源の仲介、政策提言などを行う組織(内閣府「新しい公共支援事業の実施に関するガイドライン」より)

1 そもそも国際化協会には、どんな役割が求められているんだろう?

5月8日、大和市で初めて、外国人当事者のNPO法人「在日カンボジアコミュニティ」が設立されました。その設立に大きく寄与したのが日本人である伊藤裕子さん。カンボジアコミュニティを創設するまでの経緯を聞かせていただきながら、日本人が当事者の社会参加を支援するということ、国際化協会に求められている役割について考えます。



■伊藤さんがカンボジアコミュニティの手伝いをすることになったきっかけは?

もともと、南林間にあったインドシナ難民のための「大和定住促進センター」で働いていました。彼らがセンター にいられる期間は6ヵ月しかありませんので、センターを出た後のいろいろな相談にものってきました。それが縁 で、今も彼らとの付き合いが続いています。

■今回、カンボジアコミュニティが法人格を取得したのはどういう理由から?

メンバーの一人が、タイの難民キャンプにいた時に一緒だった方が、カンボジア中部のコンポンチャム州というところに農事組合を作って、加入した農民と共に悪戦苦闘しながら農作物を作っていま

す。依頼があって、NPOになる前からその支援を続けています。メンバーの半分ぐらいは、法人にならなくてもやっていけるのではないかと考えていましたが、母国の大使館や役人にとっては、支援に入る団体が、法人かどうかということは重要なことのようで、自分たちを信用してもらうためにも、法人格は必要であるという結論になりました。経理もしっかりしなければならないし、報告書の作成も大変なんだよ、と何回も言ったんですけれど、「やろう、やろう」という声に押されて、みんなの話を聞きながら、私が定款を作って、申請をしました。カンボジアでは仏教行事が多くて、宗教を全部排除した形での組織づくりをすることが大変でしたね。今は、ラオスのコミュニティをNPO法人化しようと書類作りをしています。みんなで集まって、日本語ができる方が、私の説明を一行ずつ通訳して内容を確認しています。

■日本人の役員は伊藤さんおひとりですか?

そうです。実は、みんながカンボジア語で話し合っているときは、どんな話になっているのかよくわからないし、私自身が活動に対して「こうしたい」という提案は全くありません。とにかく自分の役割は、役員全員が、同じ土俵でものが考えられるように、話し合いの内容を理解しているのか、何度も確認することだと思っています。もう一つ気を付けているのが、母国への支援については、母国の貧しい農民たちのためになっているかどうか、それをよく確認することです。何か問題が起きるのは、みんなが納得していないのに、何かを進めてしまった時です。もし、全員が納得して決めたことで、何か問題が起きる恐れがあるな、と思った時には、やめるよう自分の意見を言うつもりでいますが、さすがに役員たちが、そういった判断をすることはないですね。

■組織として、困っていらっしゃることは?

私たちはもちろん、日本に暮らすカンボジア人のための事業も行っています。イベントなどを行う際には、片隅で相談を受け付けたりしているのですが、内容が複雑で、特に、親子の関係については、他の外国人の方々よりも深刻であるように感じます。

タイの難民キャンプに、短い人は1~2年、長い人は15年ほど滞留していました。無論、学校などはありません。学校というものを経験せず、キャンプ内で結婚・出産しましたので、子どもの教育について、理解しにくいところがあります。それに、ラオス、カンボジアのキャンプでの生活が長かった方々は、母語を喋りますが、読み書きが出来ません。神奈川県内各地では、かなりのスピードで翻訳支援がありましたが、届いた手紙は分かりません。読めないのです。本当は行政の文字翻訳より音声が役に立ちます。支援よりもまず、そのような背景を理解していただくようにお願いします。

そして、これは、外国籍県民かながわ会議でも提言しているのですが、憩いの場、集会の場の確保に、外国人は苦労しています。組織としての実績がないという理由から、また騒音や食べ物のにおいなど、いろいろなことで、外国人は場所を借りることが大変に難しいということです。これは外国人共通の大きな悩みです。

1970年代には まだ生まれていなかった あなたに贈る



大和定住促進センター

1975年にベトナム戦争が終わった後、ベトナム、ラオス、カンボジアのインドシナ3国は、国内が政治的に不安定な状態に陥りました。その状況をきらって、小さな船や陸路で国を脱出する人たちが大勢出ました。インドシナ難民です。

日本政府は、1978年に彼らを定住者として受け入れることを決め、全国に4か所の難民受け入れの施設を設置しました。そのうちの一つが、南林間に作られた「大和定住促進センター」です。センターでは、日本語教育や日本社会に適応するための学習などが行われ、その後、インドシナ難民たちは実社会へと送り出されていきました。

Pal. vol.75 FALL

特定非営利活動法人在日カンボジアコミュニティ

カンボジアの伝統文化や生活習慣を通した在日カンボジア人と市民の交流を進めることにより、多文化共生活動を行う団体。在日カンボジア人が 社会参加できるための環境づくりや、同胞が抱える課題を解決するための支援、情報提供もしている。その他、世界で生活するカンボジア人との ネットワークをつくったり、母国に対して支援を行うことでカンボジア王国の再建と復興に寄与するための活動を行っている。

今後の活動予定 カンボジアのお正月は、お釈迦様の誕生日(4月8日)に行われます。毎年、日本でもこの日にみんなで集まってお祝いをし ます。10月からはその準備をはじめます。

理事長 沢井律

事務所 大和市林間 2-8-12 連絡先 046-276-0841(伊藤)

2 地域のリソース調査 ~まだまだあるよ 新しい地域のカ

8月20日~22日まで、保健福祉センターで、やま と国際フレンドクラブ(IFC)が主催する、夏休み学 習教室「IFC学べ~る」が開催されました。外国につ ながる子どもたちに、地域のボランティア団体であ るIFCが夏休み期間中の学習の機会を提供する目 的で実施している教室です。

ここで、子どもたちに1対1で勉強を教えている のは、神奈川総合産業高校MESと大和西高校国際 協力部のメンバー。最近では、国際交流や国際協力 が部活動になったりするんですね!





神奈川総合産業高校

正式名称は、「Multicultural Exchange Society」といいます。 学校に来る留学生のウエルカムパーティーの企画や進行など、留学 生との交流を中心に活動しています。

メンバーは全部で24名。3年生は女子が9名、男子が1名、2年生は女 子が2名、男子が6名、1年生は女子4名、男子が2名います。

前回の学べ~るでの活動を通して、他の国際交流のイベントやボラ ンティアにも積極的に参加するようになりました。

子どもたちに45分間集中して勉強をさせるのは大変でしたが、素直な 良い子ばかりだったので、お互いに楽しみながらできたと思います。 少しでも多くの宿題を終わらせてあげたいと思いながらやっていました。 外国につながる子どもたちに、分りやすい言葉で話すのは大変だな と実感しています。日頃の活動に活かしていきたいです。

大和西高校国際協力部 WAO

WAOは[World as ourselves]の略です。

世界の貧困問題や児童労働問題に目を向けて、理解を深め、行動に 起こしてみようという趣旨の集まりです。

今は、1年生2名、2年生12名、3年生5名の計19名で活動しています。 そのうち男子が2名で、女子が17名です。

いつもは、募金活動をしたり、貧困、平和などをテーマにした講演会 やワークショップに参加したり、地域のイベントでボランティアをし たりしています。文化祭の時には、フェアトレード商品の販売もして います。

学べ~るは、今回で2回目の参加になりますが、貧困や平和などに目 を向けて活動するだけでなく、子どもたちと触れ合ったり、身近なと ころから国際交流の輪を広げたりすることも大切だなと思いました。 新たな活動につなげていこう、と考えるきっかけになりました。

3 国際化協会の使用例 〜コーディネートします。



例えば、大和市が、毎年8月の最終土曜日に開催している総合防災訓練。今年は8月25日 の土曜日に、引地川公園ゆとりの森と大和市立渋谷中学校の2会場で開催されました。そ のうち、サブ会場に当たる渋谷中学校で行われた避難所運営訓練において私たちは、大和 市役所危機管理課から依頼を受けて、危機管理課、国際・男女共同参画課と一緒に、外国人 市民の参加を想定した訓練プログラム作りをしました。

会場となった渋谷中学校は、すぐ隣が外国人市民を多く抱えるいちょう団地。訓練でも、 また実際に災害が起きたときにも、外国人市民と助け合うことが必要になってきます。大和 市の地域防災計画では、外国人市民を要援護者と位置付けており、具体的な支援策につい て、今後検討していかなければいけません。

そこで、私たちは、地域の日本語教室で外国人市民にボランティアで日本語を指導してい

る伊藤素美さんにご協力いただくことにして、危機管理課の職員の説明を、伊藤さんにわかりやすい日本語で解説していただいたり、「外国 人でも避難所に行ってもいいのかなぁ?」といった外国人市民の日頃からの疑問の声を日本人市民にも知っていただける様に工夫したりしま した。

つながりを持つには、最初にちょっとした気合が必要(そんなことありませんか?)。それでも、それぞれの特技が結び付くと、成果は広が り、解決できる課題も多くなるかもしれません。

国際化協会は、人や団体、地域、はたまた行政が思わぬつながりをつくり、地域の環境を変えていく、そんな一翼を担える存在でありたい と思っています。

特大号京京京京京京 やまと世界料理のあったこの店屋台村を食べ尽くせ!

3回目を迎える「やまと世界料理の屋台村」。今年も大和駅東側プロムナードにエスニック料理屋9店と、大和B級グルメ王座決定戦2012 (Y-1グランプリ)上位入賞店が集結して、食欲の秋にふさわしい一日を演出します。

日時:2012年10月28日(日)午前10時~午後3時

場所:大和駅東側プロムナード

ステージ:吹奏楽、フラダンス、ベリーダンス、大道芸、フォルクローレほか

Y-1 2012優勝&審査員特別賞

炭火串焼物語 SAKE

屋台村に初登場。Y-1 2012で優勝した自慢の味をお楽しみください。



相模豚備長炭直火焼 500円

お店で味わうならこちらへ!

住 所 大和市大和東2-7-33 近藤ビル103 小田急線・相鉄線大和駅 徒歩3分

TEL 046-262-9490

営業時間 17:00~

定 休 日 水曜日

駐車場なし

Y-1 2012準優勝

炭火・七輪ホルモン焼 珍満

前回の屋台村で最も早く完売したのがこのお店。 ホルモン好きはお早めに!



やわらかホルモン炒め 400円

お店で味わうならこちらへ!

住 所 大和市南林間2丁目10-9 小田急江ノ島線南林間駅 徒歩3分

TEL 046-275-0590

営業時間 15:00~24:00

定休日 不定休

駐車場 なし

Y-1 2012準々優勝

つくば屋

一つ一つ手作りされた熱々メンチと山盛り野菜! 屋台でこのクオリティーはさすがです!



大和バーガー 500円

お店で味わうならこちらへ!

住 所 大和市林間1-3-1

小田急江ノ島線南林間駅 徒歩1分

TEL 046-274-1857

営業時間 ランチ11:00~14:00 ディナー17:00~25:00

定 休 日 木曜日

駐車場 2台

タイレストラン リナ

このお店の看板娘の名前、ご存知ですか? そう、「里奈」 ちゃん! 娘を愛してやまないママが 作るタイ料理、美味くないはずないでしょう。



パッタイ 400円

パッタイはタイの焼きそば。ピーフンで作ります。味の決め手は門外不出の自家製ソース。里奈ちゃん日く「ママの味付けはちょっと甘めで美味しいよ」。

お店で味わうならこちらへ!

住 所 大和市西鶴間1-13-4 小田急線鶴間駅 徒歩2分

TEL 046-275-3112 営業時間 17:00~25:00

定休日不定休

駐車場 なし

韓国 総合市場 韓国村

韓国屋台フードを完全制覇した韓国通も、お肉大好き肉食系も、間違いなく満足! それがサムギョブサル。



サムギョプサル 400円

サムギョブサルとは、豚の三段バラ肉の焼肉のこと。 韓国では、キムチやスライスしたニンニクと一緒に、 サンチュやエゴマの葉に巻いて食べます。

注)食材店です。サムギョプサルは屋台村のみの限定メニュー

お店はこちら!

住 所 大和市南林間1-4-5

TEL 046-271-0011

営業時間 10:00~20:00

定休日 日曜日

駐車場なし

ネットショップ http://kankokumura.com

イタリアン 湘南珈琲工場

コーヒー豆屋さんのイタリアン?と侮るなかれ。自家焙煎のコーヒー豆を買いに行かれるほど、舌が肥えたお客さんたちに鍛えられたコーヒー豆屋さんのイタリアンですよ!



トリッパ 500円

トリッパとは、牛のハチノスを、トマトソースで煮込んだ、いわゆるイタリアのモツ煮込み。トリッパをパンにはさんで焼いたもの、それがイタリアが誇るB級グルメ「パニーニ」(400円)。

お店で味わうならこちらへ!

住 所 大和市大和東3-9-6

小田急線·相鉄線大和駅 徒歩6分

TEL 046-262-6363

営業時間 11:00~20:00

定休日日曜・祭日

駐車場 なし

南米・ マイスグッドスピード イタリアン

大和はたくさんの南米出身者が住んでいる街。 「シュラスコ、美味しかったよ~」と明日の会話の ネタに、ぜひご賞味あれ。



シュラスコ 300円

シュラスコとは、ブラジル風バーベキューのこと。岩塩 だけで味付けしたシンプルな料理なのに、なぜだか南 米の味がするので不思議。

お店で味わうならこちらへ!

所 大和市南林間1-9-1サン·フォレスタ105 小田急線南林間駅 徒歩2分

046-275-6112

営業時間 18:00~3:00 定 休 日 不定休

駐車場 なし

トルコ・ KAFKAS KEBAB イスタンブール

エスニック料理激戦地、上野アメ横からようこそ やまとへ!陽気なお兄さんたちとのコミュニケー ションがサイコーに面白い!



ドネルケバブ 500円

ドネルケバブは、もうおなじみですね。スパイスで 味付けした肉を大きなパーナーでくるくる焼いて、 うすーく切って、キャベッとソースと一緒にピタパ ンにはさんでいただくアレです。今回はチキン。

お店で味わうならこちらへ!

所 台東区上野4-7-8アメ横センタービル39-A JR上野駅 徒歩5分

090-6044-3436 TEL

営業時間 10:00~23:00

定 休 日 年中無休 駐車場 なし

板橋からはタコス・タコライスの専門店。 何でもこのお店のタコライスは、板橋区民が選ぶ「板橋 のいっぴん」に認定されているそうですよ。

タコスマイル

メキシコ・

アメリカ



ナチョス 300円

ごめんなさい!ライスはテントでは提供していただ くことができません。オリジナルはお店で楽しんでいただいて、今回は、同じソースとチーズをかけた ナチョス (コーンチップス) を食べてみて!

お店で味わうならこちらへ!

所 板橋区大山東町28-10

東武東上線大山駅、都営三田線板橋区役所前駅 各徒歩5分

TEL 03-3961-7100

営業時間 11:00~14:30 17:00~21:00

定 休 日 金曜日

駐車場 なし

ラオス・ タイ・ラオス 家庭料理 パカーラン タイ

ラオス料理屋さんって実は相当珍しいんです! それが大和の駅前で食べられる?!この機会、逃 す手はないでしょう。



ガイオップ 400円

ガイオップは、鶏肉の煮込み料理のこと。当日は、他に も、カオプン (焼き魚とココナッツミルクから作るスー プにそうめんを入れたもの)など、珍しいラオス料理 が楽しめますよ。

お店で味わうならこちらへ

所 海老名市東柏ケ谷2-25-20 住 相鉄線さがみ野駅 徒歩1分

046-235-0135 TEL

営業時間 11:00~23:00

定 休 日 月曜日

駐車場 3台

インド・ インド料理 RANI 「ングラデシュ

大和では、言わずと知れたインド・ベンガル料理 の有名店が東側プロムナードに帰ってくる!国際 交流フェスティバル2009以来の再会です。



ナンドッグ 500円

タンドール(窯)から取り出す焼きたてのナンにソ-セージと野菜、カレー風味のソースを挟んでいただく のがラニーオリジナルのナンドッグ。

お店で味わうならこちらへ

所 大和市桜森2-14-17 大山ビル1F 相鉄線相模大塚駅 徒歩3分

046-260-6444 TEL

営業時間 11:00~23:00 定休日 年中無休

駐車場 10台

アジアサイアムフード

大和のエスニック料理屋さんといえばタイ料理! 今回は2店舗が出店します。こちらは屋台村初 登場!



ケーンキョワーン 400円

ケーンキヨワーン…? タイ料理ではおなじみのグリーンカレーのこと。 今回は、ビーフンにかけてお召しあがりいただきます。 注)食材店です。タイカレーの食材が揃います。

お店はこちら!

所 大和市西鶴間1-16-6 小田急江ノ島線鶴間駅 徒歩3分

046-200-9611 TEL

営業時間 11:00~22:00

駐車場 なし

定 休 日 不定休

地域密着・顧客密着のクリエイティブ集



似顔絵名刺

広

販促支援

SINCE 1885

さんこうどう

http://www.sankodo.ne.jp/ 000120-3510-13

(公財)大和市国際化協会事業報告

日本語ボランティア教師養成講座

2012年2月2日から6月21日(木曜日 全17回) 午後6時30分から8時30分 大和市林間学習センター

市内の日本語教室で活動できるボランティアを育成するため、「日本語ボランティア教師養成講座」を開講し、市内外から41名の参加をいただきました。

講師をにほんごの会企業組合の先生方にお願いし、「みんなのにほんご」」のテキストに沿って、ボランティアとしての支援の在り方、日本語文法、初級文型の基礎など、日本語を教えるための指導法を学びました。また、毎回実習の時間を設け、受講生は、工夫を凝らした手製の教材を使いながら、本番さながらの模擬授業を行いました。

新しい人材の発掘に加えて、当講座へは、既に市内の日本語教室で活動されている方からもご参加いただき、当講座が研修の場となったことは、大きな成果でした。修了生の方が一人でも多く、実際の日本語教室の現場で活躍されることを期待しています。



日本語・学習支援ボランティア養成講座

2012年2月1日から6月20日(水曜日 全17回) 午後4時30分から6時30分 大和市桜丘学習センター

国際化協会では外国につながる児童生徒の学力の向上を目指して、市内小中学校の現場で学習支援ができるボランティアの派遣を行っています。学校から頂くより多くの依頼に対応するため、新しい人材の確保に向けて、第4回目となる「日本語・学習支援ボランティア養成講座」を開催しました。

講師を、大和市教育委員会日本語指導員、元国際教室担当教諭の先生方にお願いして、市内小中学校に在籍する児童生徒の状況と課題を理解するとともに、日本語指導法や教科指導の工夫の仕方などについて学びました。

実習授業のグループ討議や、講座の開始時に行う自己紹介の時間を通して、徐々に、受講生同士の親睦が深まり、講座も和やかな雰囲気で進行することができました。

また、養成講座の終了を待たずに、数名のボランティアが学校での活動を開始され、修了生20名から当協会の学習支援ボランティアに登録いただくことができました。



市内のイベントを紹介します

生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つるま読み書きの部屋」講座のご案内 (2012年秋)

皆さんの周りに、「市役所や学校からのお知らせが読めない。」「病院に行ったとき、問診票が書けない。」といった悩みを持つ外国人市民はいませんか?

日本での生活の中には、書類を読んだり、書いたりする 場面がたくさんありますが、文字だけ読めても、日本の習慣 やルールを知らないと、本当の意味が理解できません。

「つるま読み書きの部屋」では、生活に必要な日本語を、 読み書きを中心に勉強をします。

ひとつのグループに複数の日本人がいて、いろいろ話し合いをしながら勉強しますので、しっかり身につきます。

日 時 ①11月5、12、19、26日、12月3日(月曜日 PM7:00-9:00) ②11月6、13、20、27日、12月4日(火曜日 AM10:00-12:00)

場 所 ①大和保健福祉センター4階 視聴覚室(鶴間駅から歩いて5分) ②大和生涯学習センター3階308(大和駅から歩いて10分)

対象者 日本語で簡単な文章が読めて書ける人(①と②の内容は同じです)

費 用 1,000円

主催 大和市・NPO法人 かながわ難民定住援助協会

申込み 大和市国際・男女共同参画課

TEL:046-260-5164 FAX:046-263-2080 メール:bu_kokus@city.yamato.lg.jp



第5回 やまと国際アートフェスタ ~世界に広げよう!~

2012年11月3日(土)10:00~18:00 4日(日)10:00~17:00 (投票しめきり 15:00)

イオンモール大和3階イオンホール

今年のテーマは、「世界に広げよう!」。世界に広げたい想いや、世界に目を向けた作品を募集しましたが、どんな絵が展示されるのでしょうか?

この展覧会を始めたときは、開催の日まで、不安と期待とでドキドキしていたのを思い出します。この「やまと国際アートフェスタ」を開催するにあたって、やまと国際フレンドクラブ(IFC)が目指したのは、まず外国にルーツを持つ子どもたちに言葉のハンディがない「絵」で自分を表現



してもらうこと、買い物がてら家族揃って見に行ける大きなショッピングモールで展覧会を開催すること、来場者参加型の展覧会にすること、この3つでした。何の実績もないIFCにとって、この3つの目標を達成して、アートフェスタを開催するというのは、本当に大きな挑戦でした。しかし、私たちの思いを受け止め、後援、協賛、協力してくださった沢山の皆様のおかげで本当にすばらしい展覧会を開催することができました。そして、何よりも子どもたちの素敵な絵とその絵を見にきてくれたご家族、お友達の笑顔を見ることができたことが大きな喜びでした。

今年、この「やまと国際アートフェスタ」は5回目を迎えます。年々多くのご応募を頂く様になり、今年は各学校上限40枚までとさせていただきましたが、たくさんの絵が集まってくることと思います。今回は、最初の思いに立ち返って、外国にルーツを持つ子どもたちに対して「インターナショナル賞」を新設する他、「大和市国際化協会賞(仮称)」、「大和ロータリークラブ賞」など、5周年特別賞を用意して開催いたします。ぜひ会場に足をお運びください。

Pal. vol.75

外国人市民サミットを開催しました

2012年7月1日 午後1時30分から4時 大和市役所5階研修室

外国人市民サミットは、大和市の大木哲市長と共に市内に在住、在勤、在学の外国人市民が自由に意見を語るイベントとして開催しているもので、今回で4回目を迎えました。当日は、8つの国と地域出身の外国人市民19名が出席、日頃から日本語教室の開催やボランティア活動などを通じて外国人市民を支援している日本人ゲスト10名も参加しました。

サミットでは「大和市に住んで感じること・望むこと」について、出席した外国人市民一人ひとりが意見を述べた後、「近所づきあい」をテーマに出席者全員が参加してフリートーク形式で語りました。前半は「日本人と外国人市民のかけ橋となりたい」という意見のほか、「日本語があまりうまくなくて申し訳ありません」と正直な自己紹介をされた方もいらっしゃいました。また、「日本語の情報ばかりで各言語での情報提供が少なすぎる」といった意見がありました。



「近所づきあい」に関するフリートークでは、「外国人である自分から日本人のグループに積極的に声をかけていく必要があるし、実際に自分はそうしている」との意見が出た一方で「日本人はそれほど近所づきあいをしなくても問題ないが、外国人は日本人との付き合い方を考慮しなくてはいけない立場に置かれている」といった発言がありました。また、「出席している外国人は皆さん優等生で日本社会に適応している。問題はこのような場所に出てこない外国人だ。もっと若い世代に多文化共生を担ってほしい」と近所づきあいというテーマを超えた意見が出されました。

「夏休み子ども教室 | を終えて

2012年7月23日から8月1日(全6回) 大和市保健福祉センター4階 講習室

今年も7月23・24・25・30・31日と8月1日の6日間、「夏休み子ども教室」を開催しました。連日の猛暑の中、フィリピン・ペルー・パラグアイ・ブラジル・中国・パキスタン・ドミニカ共和国を母国とする小中学生延べ163名が参加し、ボランティアの皆さんと合わせて、会場内は外気以上の熱気に包まれていました。

子ども達は、それぞれが夏休みの宿題や自分が勉強したい教材を持ち込み、ボランティアの皆さんにマンツーマンで指導をしてもらいました。最初は渋々出てきた子ども達も、ボランティアの皆さんに"易しくて解りやすい日本語"で教えてもらえるので、勉強が楽しくなり2日目以降は、開始1時間も前から待っている子もいたくらいでした。家ではなかなかはかどらない勉強も、多くの仲間達と一



緒に集中してやれるので、ほとんどの子ども達は、宿題を仕上げることが出来ました。また一部の子ども達は、宿題を終えた後も、頑張って ドリルや問題集にまで、取り掛かっていました。

彼らは会話に関してはほとんど問題ありませんが、教科の勉強についていくことが難しく、日本語の「読み書き」の力をさらにつけることが必要のようです。計算も早くできるのに、文章題になると解けない。これは単に問題の意味が判らないだけなのです。また判っていても書けないのです。ではどうすれば良いのか。この「読み書き」の力を少しでも上げてやれば、勉強に面白さを感じ、彼らはクラスメートと同じかそれ以上に優秀な生徒になれるでしょう。

このことを一番理解して欲しいのは、彼らのご両親や周囲の大人たちです。みんな生活するのに忙しく、なかなか子ども達のことまで気がまわりませんが、どうか彼らに学校以外でも、日本語を勉強する機会を与えてあげてください。

子ども達は声に出さないけれど、本当はとても苦しんでいるのです。そのような子ども達を救うために、国際化協会は「夏休み子ども教室」の開催や、「日本語・学習支援ボランティア派遣事業」を年間を通じて実施しています。これらの学習支援は、大和市内の小・中学校及び国際化協会の事務所でおこなっております。あなたの身の周りに、支援が必要な子ども達がいましたら、お気軽に国際化協会までご相談ください。

안녕!광명!アンニョン!ケァンミョン!

〜大和市の友好都市である大韓民国光明市の情報や、市民と の交流の様子をお届けします。

●7月28、29日の西口風鈴まつり、神奈川大和阿波おどりで披露された農楽、ご覧になった方も多いのではないでしょうか。友好都市である光明市の市立農楽団がこの日のために訪市して、本場の農楽を披露してくださいました。林雄洙(イムウンス)団長に、お話を聞かせていただきました。





36回も続く伝統ある祭りに参加させていただくことができて、大変うれしく、光栄に思っています。踊りを披露して、阿波おどり同様に私たちのことを受け止めてくださっていると感じました。

阿波おどりは、一見簡単そうに見えて細かいところに 神経を使った踊りですね。それに、日本のお祭りの組織力 と秩序を守って進められる運営は素晴らしいです。

農楽は、韓国の伝統文化であり、総合芸術と呼ばれています。特に光明市は、韓国国内においても、農楽文化地域として知られるようになってきています。

私たちの楽隊は市が運営しており、アメリカや中国に 招待していただくこともあります。

また市内には、農楽を専門に学ぶ高校もあって、各学年100名の学生たちが、真剣に農楽を学んでいます。市内の18のまちにもそれぞれ農楽団があって、毎年10月には大会が開かれます。同じ時期に、青少年の全国大会も開かれるんですよ。

これからも文化を大切にしていき、祭りを通して光明市と大和市の友好の一助になれば幸いだと思っています。

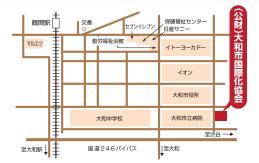


公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

講座、イベントへのお申し込み、お問い合わせは国際化協会 事務局までお願いします。

■公益財団法人大和市国際化協会 〒242-0018 大和市深見西8-6-12 大和市役所分庁舎2階(大和市立病院の東側) Tel:046-260-5126 Fax:046-260-5127 Email:pal@yamato-kokusai.or.jp http://www.yamato-kokusai.or.jp

受付時間 月曜~金曜 第1.3土曜 8:30-17:00



マークの見方

□ …日時 🔐 …場所

論 …定員★ …費用対象内容…内容

一…講師

記る…お申し込み方法

日本語初級クラス(保育付き)

もっと日本語が話せるようになりたい方、小さな子どもさんがいるお母さんも子どもを預けて、教室に参加できます。保育サービスをご希望の方は詳細を国際化協会までお問い合わせください。

2013年1月10日から3月14日までの毎週木曜日 午前9時30分から11時30分 全10回

大和市勤労福祉会館2階創作の窓(鶴間駅から徒歩約5分)

内容 日常生活で使えるフレーズや語彙を覚えながら会話力アップを 目指します

→ インターカルト日本語学校講師 芥川泰子先生

対象 日本語が少し話せる方

15名

¥ 全10回分として2,000円

』電話または国際化協会窓口で10月1日から先着順に受付ます。

₋ 国際理解講座「もっと知りたいビルマ(ミャンマー)」

2012年4月、軍事政権によって長く政治活動を禁止されていた民主 化運動指導者のアウンサンスーチー氏が連邦議会補欠選挙で当選を 果たすなど、民主化が進みつつあるビルマ(ミャンマー)に焦点をあて ます。

【第1回】ビルマ(ミャンマー):変化の行方

【第2回】ビルマ(ミャンマー)現代史と日本:過去を知り、未来をみつめる

①12月8日(土)13:30~16:00

②12月22日(土)13:30~16:00

①、②ともに生涯学習センター102講習室

対象 どなたでも

①フォトジャーナリスト 宇田有三氏

②上智大学外国語学部教授 根本敬氏

¥無料

電話または協会窓口で10月1日から先着順に受付ます。



写真:アウンサンスーチー氏

第3期大和市多文化共生会議の委員を募集します。

多文化共生会議は、大和市の多文化共生をすすめることを目的に、日本人と外国人市民が共生・協働できる地域づくりに必要な取り組みを協議するもので、大和市から委託を受けて国際化協会で開催するものです。

第1期の会議では、「外国人市民への情報提供」と、「教育・日本語学習」について、第2期の会議では、「防災・災害時支援」と「外国人市民の健康」について協議を重ね、提言を作成しました。

今期は、「外国人市民と地域社会との関わり」をテーマに取り上げ、外国人が地域社会の一員として社会参画できる仕組み作りを考えていきます。 委員の皆さんには、外国人市民の当事者団体や外国人市民支援に携わる団体を訪問し、活動現場の視察や聞き取り調査などのフィールドワーク を実施することで、現状の把握、課題の洗い出しを行い、外国人市民と地域をつなぐためには何が必要なのか検討し、報告書を作成していただきます。

任 期:2012年12月から2014年11月(2年間)

対 象:2012年4月1日現在満18歳以上の大和市に1年以上在住・在勤・在学・在活動している方で、多文化共生に興味があり、任期中月1回 程度の会議(土曜日を予定)や視察などのフィールドワークに出席できる方。

(1回目の会議は、2013年1月12日(土曜日)午後2時から大和市役所分庁舎2F会議室にて行います。)

募集人員:日本人委員および外国につながる委員*約10名

応募方法:氏名、住所、電話番号、通勤・通学先もしくは活動場所の住所と名称、生年月日、性別、国籍、在留資格・在留年数(外国につながる委員のみ)、応募理由を、必ず応募者本人が日本語で応募用紙もしくは任意の様式に記入し、11月30日までに当協会へ郵送もしくはファックス、Emailでお送り下さい。

※外国籍市民または日本国籍でも外国にルーツを持つ市民

協力指定店が 増えました!

10月1日から、大和東にある葬祭場「大和式礼」が協力指定店に加わってくださいました。

国際化協会の会員証の提示で、葬儀セット30%off、で供花10%off 等、ビックメモリー会員と同等の割引サービスをお受けいただけます。

住所:大和市大和東2-9-13 電話:046-264-4111

フリーダイヤル:0120-143-011(年中無休・24時間受付)

